

2007年度 日本文化人類学会 第1回理事会 議事録

日時：2007年5月6日（日） 14:00～18:00

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス 80年館

出席者：須藤、赤堀、上杉、大塚、小田、窪田、スチュアート、田中、棚橋、富沢、永渕、松岡、
松田、三尾、森山、山本、吉岡、和崎

委任状提出：春日、栗本、瀬川、関

〔承認事項〕

1. 前回（2006年度第7回）理事会議事録

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・シンポジウム「『もの』からみる人間の文化と社会—贈り物の人類学」（神戸開催）に対し文部科学省の平成19年度科学研究費補助金（研究成果公開発表B）の交付内定があったこと、もう1件のシンポジウム（東京開催）は今回不採択であったが開催予定であることを報告。
 - ・国立民族学博物館との連携事業について部会活動という形で学会員の活動を積極的に対外的に発信していくことの重要性から、部会の運営方法や組織の公募等を今年度の検討課題とする必要があることが述べられた。
2. 庶務理事報告
 - ・新入会員（13名）につき、総務会で入会を承認したことを報告。
3. 会計理事報告
 - ・2006年度決算の会計監査が4月12日に行われたことを報告。
 - ・平成19年度科学研究費補助金の交付申請書を2種（学術定期刊行物、研究成果公開発表）提出したことを報告。
4. 総務理事報告
 - ・7月16日に滋賀県立大学で開催予定の日本霊長類学会研究大会において、人類学会関連学会協議会主催のシンポジウムが開催されること、本学会の代表として曾我亨氏（弘前大学）をパネリストとして推薦することとを報告。また、このシンポジウムに協議会加盟学会の会員が参加を希望する場合の参加費を無料とすることを各学会へ提案中であることを報告。この提案に伴い本学会において協議会のシンポジウムを開催する場合にも協議会加盟学会の会員からは参加費を徴収しない方針が承認された。
5. 広報理事報告
 - ・第41回研究大会会場において、J-Stageでの予稿集の出版と学会ホームページの利用促進についてビラを配布予定であることを報告。
6. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：寄稿規定におけるスモールキャピタルでの氏名表記の指示は不要との提案があり、意見交換がされた。その結果、編集委員会で検討、決定することが承認された。
 - ・JRCA編集委員会：次の4件について報告があった。①JRCA Vol. 7を出版したこと②理事外編集委員の追加を行う予定であること③投稿について既出版の和文誌論文の翻訳も受け付けていることを会員に周知するため、チラシの配布について編集委員会で対応すること④会員外からの投稿を可能にしたいとの希望が述べられ、この件については今後理事会に提案することとした。
 - ・広報・情報化委員会：『文化人類学』『民族学研究』のデータベースを学会サーバーに移動し、同時に更新を行ったことを報告。また、今年度、2回の一般向けシンポジウムを開催予定であることを報告。
 - ・学会歴史委員会：インタビュー映像について5件の利用許諾が得られたことを報告。
 - ・研究大会：和崎理事より、第41回研究大会の申込者数等について報告。
 - ・倫理規定検討委員会：2007年12月頃の策定を目指し、秋頃から活動を行うことを確認。
 - ・学会賞選考委員会：欠席の関理事に代わり和崎理事より、選考経緯を説明、候補者を決定したことを報告。

報告。

- ・『文化人類学中事典』編集委員会：編集委員会の開催と進捗状況を報告。
- ・連携事業実行委員会：欠席の栗本理事に代わり会長より、国立民族学博物館との連携事業の一環として第41回研究大会で分科会を開催することを報告。

[審議事項]

1. 2006年度事業報告・2007年度事業計画案について
 - ・資料に基づき各項目の説明があった。今回各理事から出された意見を反映した上で次回理事会に提案し、評議員会の議を経て総会に提案することとした。
2. 2006年度決算・2007年度予算案について
 - ・資料に基づき2006年度決算について説明があり、承認された。
 - ・資料に基づき2007年度予算案について説明があった。予備費の減少が指摘され、予算案を2006年度決算ベースで組み直し、理事メーリングリストで配信の上、次回理事会で最終案を提出することとした。また、国際人類・民族科学連合（IUAES）の会費値上げについて、国際連携委員の栗本理事より経緯を先方に問い合わせることを確認した。
3. 学会奨励賞授賞候補者の推薦について
 - ・学会賞審査委員会に対してJRCAの対象論文を改めて審査の対象に入れて推薦をしないことを要請すること、その推薦を受けて理事会によるメールでの投票で受賞者を決定することとした。
4. 『文化人類学』掲載論文等の利用許諾について
 - ・山本理事より、提案文書について説明があり、文言の若干の修正の上、『文化人類学』掲載論文等の利用許諾に関する提案が承認された。また、JRCAにも同じ規則を当てはめること、総会までに合意文書のひな形を作成することが了承された。
5. 名誉会員の推薦について
 - ・名誉会員候補資格者に該当者がなく、理事からの推薦もないため、今年度は推薦を行わないことを提案、承認された。
6. JRCAでのミスプリントの処理について
 - ・スチュアート理事より、Vol.7のミスプリントについて次号の『文化人類学』に訂正一覧を掲載することが報告された。
7. その他
 - ・田中理事より、会員から民族学振興会資料のデジタルファイルの閲覧希望があったことが報告され、意見交換の結果、ガイドライン策定後に対応することを閲覧希望者に伝えることとした。
 - ・大塚理事より、会員の所属表記について質問があった。意見交換の結果、非常勤職や嘱託職等の所属表記について、選挙規定の内容及び会員調査時の表記方法を検討する必要があることを確認した。